

**地震防災チェックリスト 「日頃から災害に備えよう！」**

**避難場所・避難所の確認・記入**

**避難場所:**

「地震」「津波」「洪水」「崖崩れ」「大規模な火事」等の危険から逃れるための場所。

**避難所:**

家の倒壊・焼失等によって自宅での生活が困難になったときに、しばらく生活する施設。

※市町村によっては「一時避難場所」「広域避難場所(地)」等の異なるよびかたをしている場合もあります。

**地震に強い家を確認**

**自宅の耐震性能、地震に対する安全性を確認**

建ててから数年が経過した家屋の場合は、積極的に耐震診断を受けて、必要があれば早めに改修しましょう。

**屋内の危険箇所を確認**

何気なく設置している家具・家電やガラス窓等も、ひとたび地震が発生したら恐ろしい凶器になります。

お住まいに「危険箇所」がないか確認し、事前の備えをしましょう。

居間や寝室などに大型の家具は置いていない。

家具などの転倒防止を徹底しましょう。

避難経路の確認をしましょう。

出入口や道路には物を置いていない。

ガラスには飛散防止フィルムを貼っている。

防災への備えについて話し合きましょう。

エレベーターで揺れを感じたら、すぐに降りましょう。

**非常持出品を準備しよう!**

「ローリングストック法」(日常的に非常食を食べたら買い足す行為を繰り返すこと)で備蓄を実践してみよう! 食べ物や日用品を少し多めに購入、日常の中で消費・補充。

**一次持出品リスト**

避難するときに最初に持ち出すもの。(男性15kg、女性10kg程度が目安)

- 貴重品**  
現金(小銭含)・通帳類・証券類・身分証明書・健康保険書・免許証・印鑑等。
- 携帯ラジオ・懐中電灯**  
携帯ラジオは小型で軽量なもの、懐中電灯は一人一つ、予備電池も多めに用意する。
- 救急薬品・常備薬**  
ばんそうこう・ガーゼ・包帯・消毒薬・解熱剤・胃腸薬・風邪薬・鎮痛剤・とげめき等。
- 非常食(火を通さなくても食べられるもの)・飲料水**  
カンパンや缶詰等、飲料水、水筒、紙皿、コップ、ナイフ、缶切り、栓抜き等。
- その他**  
下着、上着、靴下、ハンカチ、タオル、ティッシュペーパー、ビニールシート、予備の眼鏡等。(乳幼児がいる場合: ミルク、ほ乳ビン、おむつ、バスタオル等)(要介護者のいる場合: 着替え、おむつ、障害者手帳等)

**二次持出品リスト**

災害復旧までの数日間を自活するためのもの。最低3日分、できれば1週間分を用意しておきましょう。

- 食料(そのままか、簡単な調理で食べられるもの。)**  
缶詰やレトルト食品、切りもち、チョコレート、梅干し、チーズ、調味料等。(アレルギーの方: アレルギーフリーの備蓄食)
  - 水(飲料水は大人一人当たり1日3ℓが目安)**  
飲料水以外に炊事、洗濯、トイレ等、寝る前はやかんやポットに水を入れておく。
  - 燃料・その他**  
卓上コンロ、固形燃料や予備のガスボンベは多めに用意を。アウトドア用の携帯コンロも便利。その他洗面具、携帯(簡易)トイレ、生理用品、ビニール袋、キッチン用ラップ、新聞紙、使い捨てカイロ等。
- このリストには、一般的なものを示しています。ご家庭の状況に応じて、必要なものを準備しましょう。  
非常持出品は、定期的に保存状態や使用期限を点検し、必要に応じて交換しましょう。



**消防豆知識⑤ #7119**

**横浜市救急医療相談センター (#7119)**

急な病気や怪我で受診の相談をしたいときは・・・?



**#7119**

※または、045-232-7119  
すべての電話でご利用できます。

受信できる病院・診療所を知りたい時は・・・?

電話機の **1** を選択してください。

急な病気や怪我で、病院・診療所に行くか、救急車を呼ぶか迷う時は・・・?

電話機の **2** を選択してください。



**懐かし写真館**



**大正警防団分団旗**

消防団は昔、警防団と呼ばれていました。

昭和17年には大正警防団を含む20の警防団が市内で活動していました。

(戸塚消防署蔵)  
(小宮 藤正氏 寄贈)

**ご意見・ご感想をお寄せください。**

戸塚消防団通信のご意見・ご感想をお寄せください。また、今後取り上げて欲しい企画などありましたら戸塚消防団広報委員会まで。お電話で承っております。

TEL : 045-881-0119

**戸塚消防団通信  
バックナンバーのお知らせ**

インターネットでバックナンバーの閲覧が可能になりました。





# 戸塚消防団の体制・活動紹介

## 団本部の紹介

### 団本部

団本部は各分団と連絡調整を行い、全体のイベントや訓練等の実施計画をしています。

風水害や震災等の大規模災害発生時には、戸塚消防署内に団本部を立ち上げ、消防署と連携しながら、戸塚消防団全体の部隊運用を行います。

### 総務部・広報部

- 消防署との連携・各分団の連携
- 消防関連各種イベントの計画・運営、広報活動、広報誌の発行



### 訓練教育部

- 訓練の年間計画立案及び実施
- 訓練指導者の育成



### 装備部

- 装備品の配備検討
- 制服・訓練服の検討、配布計画立案



鈴木 進

戸塚消防団は市内で一番団員数の多い消防団です。  
地域防災のリーダーとしての活動をさらに活発にし、地域の安心安全を守るため活動しております。  
現在、戸塚消防団は定員割れの状況です。ぜひ皆様の入団をお待ちしております。



戸塚 博三



那須 保



岩井 英一  
広報委員会

コロナ禍で十分な活動が出来ない中、会議やイベントの進行役を担い、団員募集や広報誌の発行に向けて活動しています。



金子 富康



安井 友朗



中山 嘉和

災害や火災に対応する為、1年間を通して計画的に基礎訓練や団員のスキルアップ訓練を実施しています。



吉原 薫



藤田 昭二  
装備委員会



小賀原 裕一  
被服委員会

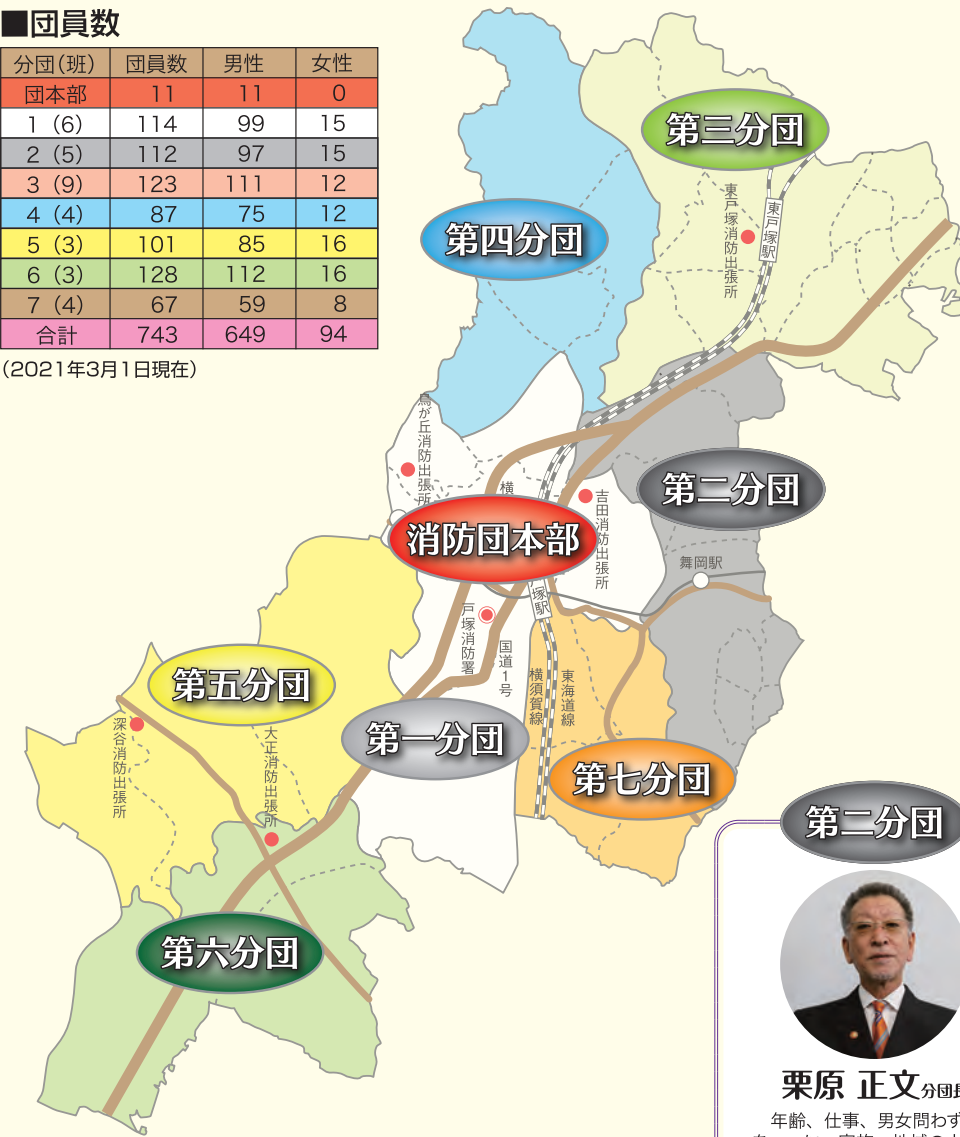
カッコイイ消防団員を目指すにはきちっとした服装から。『被服の乱れは心の乱れ』消防団の装備は大変充実しているので、訓練部と連携して取扱の強化をしています。

## 戸塚消防団 分団紹介

### ■団員数

分団(班)	団員数	男性	女性
団本部	11	11	0
1 (6)	114	99	15
2 (5)	112	97	15
3 (9)	123	111	12
4 (4)	87	75	12
5 (3)	101	85	16
6 (3)	128	112	16
7 (4)	67	59	8
合計	743	649	94

(2021年3月1日現在)



### 第一分団



小泉 春海 分団長  
担当エリアはJR戸塚駅周辺の戸塚町、矢部町、吉田町となります。地域の安心・安全のため、防火・防災を心掛けて日々活動しています。

### 第二分団



栗原 正文 分団長  
年齢、仕事、男女問わず、心を一つに、家族、地域の人達と共に頑張る活動しております。



三枝木 正夫 分団長  
「自らも地域も守る」の気持ちで訓練はもとより防災指導、救命講習を積極的に実施しています。

### 第三分団



大川 彰 分団長  
各班同士、連携を密に団員のスキルアップ及び地域と共に防災訓練・広報活動など日々活動しております。

### 第四分団



青木 勇 分団長  
上矢部・名瀬地域全体を担当しています。第四分団全員で結束し地域の安心安全を守るため頑張りたいと思います。

### 第五分団



戸塚 光春 分団長  
地域防災の要として地域の皆様の安心、安全を守るため、団員一丸となり消防団活動に邁進してまいります。

### 第六分団



大川 彰 分団長  
各班同士、連携を密に団員のスキルアップ及び地域と共に防災訓練・広報活動など日々活動しております。

### 第七分団



小串 浩一 分団長  
七分団は上倉田町と下倉田町を担当しています。地域防災の要として、訓練や広報の活動を行っています。

“あなたの力を戸塚消防団で生かしてみませんか？”

戸塚消防団員 募集中!

問い合わせ先：戸塚消防署総務・予防課消防団係  
TEL / FAX : 045-881-0119

